令和8年度家族介護を考えるつどい

その人らしさはなくならない

―脳科学から見た認知症―

認知症は年齢に関わらず誰もがなりえる身近なものです。しかし、認知症に関する一般的な知識や理解は十分ではありません。
今回のつどいでは、脳科学者であり、ご自身も介護当事者の経験をお持ちの恩蔵絢子先生をお招きして、認知症に関する認識を新たにするとともに、今後の取り組みに活かすヒントを探ります。

2026 12.20（日）

13:00-16:00（12:30開場）

会場 **飯田橋セントラルプラザ12階会議室**
新宿区神楽河岸1-1

定員 100名
参加費 無料

対象
- 介護をしている方
- 介護者の会に関わっている方、介護者を支援している方
- 地域包括支援センターや社会福祉協議会の職員
- テーマに関心のある方

第1部　基調講演

講師 恩蔵絢子氏　東京大学大学院総合文化研究科特任研究員



【プロフィール】
1979年神奈川県生まれ。脳科学者。
東京工業大学大学院後期博士課程修了（学術博士）。
専門は人間の感情のメカニズムと自意識。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』、『感情労働の未来』など。

脳科学者・介護経験者のお立場から、認知症に関する知識、介護者の気持ち、認知症との向き合い方等についてお話しいただきます。

第2部　トークセッション

家族介護という「感情労働」
～もやもやの正体を語ろう～

認知症の家族を介護している方や介護をしていた当事者の方を交えて、意見交換・質疑応答の時間を設けます。

懇親会

第2部終了後、ご参加の皆さまと交流の時間を設けます。
軽食をご用意しますのでぜひご参加ください！
※会費500円がかかります。

主催 **東京ボランティア・市民活動センター**
〒162-0823　東京都新宿区神楽河岸1-1　セントラルプラザ10階
担当：吉田・川村
03-3235-1171
03-3235-0050

◆申込方法　**※事前申込み制**です（当日の申込みはできません）

申込フォームもしくはFAXでお申し込みください。

申込フォームはこちら
https://www.tvac.or.jp/8_1.html

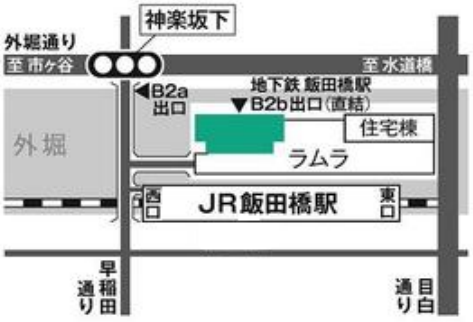
◆申込期限　12月13日（日）

※定員になり次第締め切り。

◆アクセス

JR飯田橋駅西口
地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線飯田橋駅（B2b出口）
徒歩5分

※当日は高層用エレベーターで12階受付へ直接お越しください。
※当日および開催前に発熱・体調不良のある方は参加をお控えください。



参加申込書

FAX：03-3235-0050（東京ボランティア・市民活動センター宛）

お名前 _____

ご所属 _____

電話番号(任意) _____

メール _____

▶恩蔵絢子さんに聞いてみたいことはありますか。

▶これまでの活動経験（該当するものに✓）

☐カフェやサロンに参加している、介護者の会に参加している
☐カフェやサロンを支援している、介護者の会を支援している
☐その他：具体的に（　　）

▶懇親会（16:10～17:00）への参加

※懇親会は、会費500円がかかります（当日現金払い）。
☐参加する　　☐参加しない